



うみつばめ



基本理念

私たちは、地域の中核病院として、住民の立場にたち住民の健康、福祉、安全の向上に貢献します。

基本方針

1. 私たちは、患者さまの心（心身）の痛みに共感し、やさしさと思いやりのある医療を目指します。
2. 患者さまの医学的情報について、十分な説明を行い、理解と納得に基づいた医療の実践を行うとともに、個人情報保護に努めます。
3. すべての職員が連携して、患者さまの満足と信頼が得られる医療の実践に努めます。
4. つねに医療の安全に関する知識と技術の向上に努めます。
5. 地域の医療、保健、福祉、介護との連携強化に努め、地域に開かれた病院を目指します。
6. つねにコスト意識をもって業務の効率化と能率化を図り、健全運営に必要な財政基盤確保に努めます。



1994年「国際アルツハイマー病協会」と「世界保健機関（WHO）」が共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、各地でさまざまな取り組みが行われています。

オレンジガーデニングプロジェクト × 認知症予防教室

串本町地域包括支援センターのオレンジガーデニングプロジェクトとのコラボ企画として、6月29日（木）に認知症予防教室を開催させていただきました。オレンジガーデニングプロジェクトとは、「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」という思いを共有し、楽しみながら花を育て、全国各地で認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色の花を咲かせるプロジェクトです。今回の認知症予防教室では、9月のアルツハイマー月間にむけてマリーゴールドの苗植えを実施し、園芸活動を通して認知症予防に取り組みました。現在、そのマリーゴールドが当院の中庭で満開に咲いております。



苗植えから約1ヶ月後、こんなにたくさん咲きました！



ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました✿

当院では、令和4年度から認知症予防教室として園芸活動を実施しています。園芸活動やフォークダンスなどの交流を通じて楽しい時間を過ごしていただきながら、認知症予防に取り組んでおります。次回の開催は、9月末頃を予定しています。みなさまも楽しみながら認知症予防に取り組んでみませんか？

みなさまのご参加をお待ちしております。



【文責：認知症看護認定看護師 寺島 真由美】



変形性膝関節症



ご高齢の患者さまの最も多いお膝の疾患に変形性膝関節症があります。今回はこのお膝の治療に関するお話をしたいと思います。



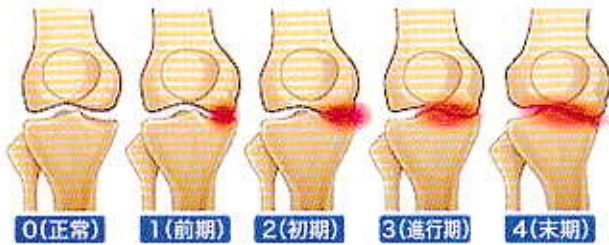
Q1 変形性膝関節症とは？

変形性膝関節症は、高齢なるにつれて軟骨が摩耗して膝の変形が進み痛みを伴うことで歩行障害が現れることです。レントゲン検査で判断ができます。

Q2 変形性膝関節症の保存的治療は？

大きく分けて保存的治療と手術的治療があります。保存的治療では、温熱療法や運動療法、サポーターなどの装具、ヒアルロン酸の関節内注入療法があります。また痛みのコントロールとして消炎鎮痛剤の内服や外用剤(湿布や軟膏)を処方します。

変形性膝関節症の5段階評価



レントゲンでは軟骨がすり減り、お膝の隙間が狭くなることで骨の変形が進んでいきます。痛みの感じ方が患者さまによって様々であり末期でも痛みがほとんどない方もおられます。初期の段階では保存的治療が選択されますが**末期の状態**で**痛みが強く日常生活に支障がある場合は手術も可能です。**

Q3 変形性膝関節症の手術とは？

大きく分けて二つの方法があります。**関節のすべてを置換する人工膝関節置換術**と**痛んでいるところだけ入れ替える単類型(部分的)人工関節置換術**があります。部分置換の良いところは手術の負担が少なく(侵襲が小さい)膝の曲がり非常にいいことから徐々に浸透してきた手術法となっています。しかし一方で末期の関節症患者さまや膝の中の靭帯が緩んでいる患者さまには使えないことなどいくつかの条件があります。**当院では近畿大学整形外科の人工関節グループと協力して手術を行っており、手術成績も良好です。**

<人工膝関節の場合>



単類型人工膝関節置換術

※近畿大学整形外科ホームページより抜粋

Q4 手術の危険性は？

人工関節の手術にも合併症があります。特に**感染(ばい菌)**に対しては注意が必要です。人工関節(インプラント)に感染が起ると抗菌薬の点滴では塞ぎきれないため関節内の洗浄や人工関節の抜去が必要になります。感染率は**0.1%程度**と低ですが100%防ぐことはできません。特に糖尿病や免疫抑制剤使用などの細菌に対する免疫力の低い方は注意が必要です。また歯槽膿漏や虫歯などから血液に乗って感染することもあり**口腔内ケアは非常に重要**です。当院では手術時に使用する接着剤(セメント)に抗菌薬含有をするなどの工夫をしており、ここ数年で感染例はありません。

Q5 手術の期間や費用について

人工関節手術の入院期間は通常3週間程度です。しかし、当院では術後のリハビリをしっかりと行っていただくため2ヶ月程度の入院も可能です。費用に関しては、入院期間にもよりますが、総額で150万円程度です。したがって、自己負担割合が2割の場合の負担額は30万円程度になりますが、**予め限度額適用認定証(※)**を確認させていただくことで、お支払いいただく医療費が1ヶ月あたりの自己負担限度額までとなります。

(※) 部屋代など、公的医療保険の利かないものは対象外となります。

入院時に、限度額適用認定証の情報の取得について同意をいただいている場合は手続き不要となります。

【文責：整形リハビリテーション科 西村 俊司】

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) について

あてはまる症状はありませんか？



① 日中の眠気



② 起床時の頭痛



③ 大きないびき



④ 熟睡感がない

このような症状に身に覚えがある方は睡眠時無呼吸症候群かもしれません

—睡眠時無呼吸症候群とは？—

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) は、睡眠中に呼吸が止まった状態 (無呼吸) が繰り返され、ぐっすり眠れなくなる病気です。いびきや不眠、夜間睡眠中に目が覚める、起床時の頭痛、日中の眠気などの症状がでます。日中の眠気は集中力・作業能率の低下、居眠り運転や労働災害の原因にもなります。さらに、高血圧や不整脈などの循環器系の障害、呼吸器系の障害などの合併症を引き起こす場合があります。

—睡眠時無呼吸症候群が起きる原因—

空気の通り道である上気道が狭くなることが原因です。首まわりの脂肪の沈着が多いと上気道は狭くなりやすく、肥満はSASと深く関係しています。扁桃肥大、舌が大きいことや、鼻炎・鼻中隔彎曲といった鼻の病気も原因となります。一方、肥満がなくても、下あごが小さく後退しているなど、骨格が原因の場合もあります。

—睡眠時無呼吸症候群の検査—

病院から小型の検査機器を貸し出し、一晚睡眠中に装着していただきます。血中の酸素濃度、脈拍、胸部の運動、呼吸の状態などが記録されます。手軽で簡単です。さらに詳細なデータが必要な場合は、他院に紹介となります。

—当院での治療—

- ・ CPAP 治療
 - ・ 生活習慣改善のアドバイス
- を組み合わせた治療を行います。



CPAP (シーパップ：持続陽圧呼吸療法) とは、睡眠時に鼻マスクを装着する治療法です。ひとりひとりの気道閉塞状態にあわせて、鼻から空気を送り込むことによって睡眠中の気道を確保します。手術とは違い、負担が少なく手軽に始められ、治療効果が早く現れます。重症のSAS患者さんのうち、CPAP治療を行った方は、治療を行わなかった方に比べて長生きできることが多くの研究で証明されています。

睡眠時無呼吸症候群は自覚症状のある方の他、家族に指摘されて気付いた方が多いです。放置してしまうと生活習慣病のリスクを高めてしまいます。健康的な生活を続けていくために、しっかりと治療をすることが大切です。気になる症状がある方は、はやめに受診することをおすすめいたします。

受診をご希望の方は地域医療連携室までご連絡ください。

くしもと町立病院 地域医療連携室 TEL: 0735-62-7111 (代表)

【文責：臨床検査部 新田 正樹】

当院の放射線部は“患者さまのために迅速、丁寧な対応にて有益な診断画像を提供します。”をモットーに4名の放射線技師が平日及び休日の24時間救急対応を取り、放射線業務を行っています。

診療放射線技師とは？

診療放射線技師とは、病院やクリニックにおいて医師の指示のもとで放射線を用いた検査や画像診断、治療に携わる医療技術職です。放射線の取り扱いには特別な注意が必要なため、日本で医師と歯科医師以外で人体に放射線を照射することが認められているのは診療放射線技師のみです。

当院の機器紹介

CT



360度回転しながら体にX線をあてることで、体の内部の様子をコンピューターによって画像化する機器です。低被ばく撮影にも配慮されていて、これまで以上に精度の高い検査技術と画像の提供ができます。

CT検査で有効なのは、腹部の肝臓、すい臓、腎臓などの実質臓器や呼吸器や骨などの部位です。

一般撮影装置



肺炎や結核などを撮影する胸部レントゲン、腸閉塞や尿管結石などを撮影する腹部レントゲン、腕や足などの骨折に対するレントゲン写真を撮影する装置です。

MRI

磁気と電波を使って多方向の断面像を撮影します。造影剤を使用せずに脳血管や腹部・下肢の動脈・静脈を検査できます。X線を使わないため被ばくはしません。



機械の中は強い磁気が通っているため、このように金属を持っていると引っ張られてしまいます。

骨密度測定装置



低エネルギー X線を利用し、測定データをコンピューター解析して骨粗鬆症などの骨疾患を診断します。検査は装置のうえで寝た状態で腰椎・股関節の撮影を行います。

撮影時間は5分程度です。

一般透視装置

透視撮影装置はX線テレビとも言われ、バリウムなどの造影剤を使用し、見えづらい体内の臓器の形態、機能などをリアルタイム映像として観察することができます。



皆様が安心して検査を受けられるよう、研修を重ね、技術の習得に励んでいます。検査や放射線について疑問やご要望がございましたらお気軽にお尋ねください。

【文責：放射線部 宮本 純志】

栄養補助食品について

このような悩み
ありませんか？

体重減少

食が
進まない

手軽に
カロリー
を取りたい

食べ残しが
気になる

エネルギー
不足??



高齢の方は、食欲の低下や、飲み込む力や噛む力の低下などの理由で食事量が減ってしまいがちです。食事量が低下することで、低栄養になり、低栄養が長く続くことで病気やけがが治りにくくなります。また、免疫力の低下などにより感染症などが起こりやすくなるなど、さまざまなリスクにつながる可能性があるといわれています。

1日に必要な栄養を食事から十分に摂れないときは、栄養補助食品を上手に活用しましょう。栄養補助食品とは、毎日の食事だけでは必要な量を摂取することが難しい栄養素を補完することを目的とした食品のことで、飲み物タイプからゼリータイプなどさまざまな商品があります。

当院で採用している栄養補助食品



ビタミン・ミネラル



腎臓病向き 褥瘡がある人向き



エネルギー・タンパク質

近年、様々な食品の価格高騰が続いておりますが、栄養補助食品も例外ではありません。

私たちは「経済的であっても美味しく食べられなければ意味がない」と考えています。そのため栄養部スタッフが必ず試食し、栄養面はもちろんのこと、患者さまに美味しく食べやすいと思っただけのような商品を採用しています。

【文責：栄養部 土井 麻緒】